

2021年度 同志社大学大学院 司法研究科

後期日程入学試験問題 法律科目試験

(刑 法)

次の設例を読んで、XおよびYの罪責について論じなさい（ただし、特別法違反の点を除く）。（配点：100点）

(設例)

夜間、X（男性、身長165センチメートル、体重50キログラム）が友人のY（男性、身長175センチメートル、体重65キログラム）と一緒に住宅街の道路を歩いていたところ、A（男性、身長168センチメートル、体重55キログラム）がB（女性）に無理やりわいせつ行為を行おうとしているのを発見した。Xは、Xより体格の良いYがBを助けた方が良くと考え、近くにあった鉄パイプをYに渡してAを指さし、「これであの男をやっつけてくれ。少しぐらい怪我をさせても仕方がない。」と言った。

Xは、YもXと同じく、Aから襲われているBを助けたいという気持ちであると思っていたが、Yは、AとBの様子を見て、恋人どうしであるAとBがふざけ合っていると思い込んでおり、Xの言葉を、「AとBが人目もはばからずにふざけ合っていて目障りだから、Aに制裁を加えろ。」という趣旨であると誤解した。Yは、「分かった。」と答えて、鉄パイプをXから受け取り、「Aが死亡することはないだろう。」と思いながら、その鉄パイプでAの頭部を力任せに殴打した。これにより、Aは、脳挫滅のため死亡した。その間に、Bは、その場から逃げた。

Xは、予想外の事態に驚き、「何てことをするんだ。俺は知らないぞ。」と言って、その場を立ち去った。その後、Yは、Aの上着のポケットに現金5万円入りの財布があるのを発見し、生活費の足しにしようと考え、その財布を持ち去った。